

請願・陳情文書表（6月定例会）

元. 6. 20

受理番号	件名	受理年月日	要旨	提出者	紹介議員	付託委員会
請願第2号	子どもたちと向き合う時間の確保に関する件	元. 6. 7	<p>(趣旨)</p> <p>人口減少、少子高齢化、グローバル化が一層進展するこれからの時代は、「今の大人が経験したことの無い、将来の変化を予測することが困難な時代」と言われており、こうした時代を生き抜くための人づくりが求められている。</p> <p>一方、学校現場では解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。</p> <p>特に小学校においては、新学習指導要領への移行期間中であり、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮している。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善などの施策が最重要課題である。</p> <p>また、学校現場においては、長時間労働是正にむけて教職員の働き方改革が進められようとしているが、中でも教職員定数改善は欠かせない。</p> <p>義務教育費国庫負担制度については、負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等をおこなっている自治体もあるが、自治体間の教育格差が生じる原因となっている。</p> <p>さらに、就学援助受給者の増大にあらわれているように、社会全体として低所得者層の拡大・固定化が進んでおり、所得の違いが教育格差につながってきている。</p> <p>国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠である。</p> <p>これらのことから、次の事項の実現について、地方自治法第124条の規定により請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 「子どもと向き合う時間の確保」をはかり、きめの細かい教育の実現のために、少人数学級を推進すること。</p> <p>2 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。</p> <p>3 上記の項目について、政府等関係機関に対し、意見書を提出すること。</p>	<p>豊岡市京町3番6号</p> <p>豊岡市教職員組合</p> <p>執行委員長 藤本 丈永</p>	<p>青山憲司 西田 真 足田仁司</p>	文教民生委員会

